

学年	単元名	児童	場所	指導者
3年	発見！東五条	旭川市立東五条小学校 3年2組 24名	音楽室	小林 豊

1 単元で身に付けさせたい力の明確化と学習対象（ひと・もの・こと）の吟味

【研究内容1 旭川らしい学びを創造する学習内容の吟味】

本単元で身に付けさせたい力

よりよく探究する学び方

- 自分の興味・関心を生かしながら解決の見通しの立つ課題を設定することができる。
- 提示された方法を基にして課題解決のための情報を集めることができる。
- 収集した情報を吟味したり、分類したりして、必要な情報を整理することができる。
- 課題解決したことを工夫しながら、分かりやすくまとめることができる。
- 課題解決したことをはっきりとした声で発表したり、自分の考えを話し合ったりすることができる。

他とかかわりながら学ぶ力

- 友と仲良く相談して分担したり、協力して追究活動を進めたりすることができる。
- 学習したことを、同じ学年や身近な家族に情報発信したり、生活の中で実践したりしようとしている。

自己と学びをかかわらせる力

- 積極的に課題追究したり、自らの学習の経過を振り返り、よさや改善点を考えたりすることができる。
- 課題追究したことを手掛かりに、今後の自分が大切にしていきたいことを考えている。

【単元のテーマ】

地域のよさ ～発見！東五条の町の「ありがとうさん」～

地域に暮らす人々の思いについて知り、地域への愛着を深める。

【単元の学習事項】

- 第1次 「山田文庫」の調査活動を通して、自分たちを支える地域の人々の存在を知る。
- 第2次 地域の人々への調査活動を通して、地域に住む人々の思いに気付く。
- 第3次 地域の人々の思いを受け、地域のために自分たちにできることを考える。

【学習対象】

ひと

- ・山田豊司さん
- ・自治会、町内会の方々
- ・市民委員会の方々
- ・地域で働く方々

など

もの

- ・金星公園
- ・新旭川地区センター
- ・地域の商店
- ・公民館
- ・幼稚園

など

こと

- ・山田文庫
- ・金星公園祭り
- ・青パト
- ・ラジオ体操
- ・公園見守り隊

など



【重視する体験活動】

- 山田豊司さんへのインタビュー活動
- 地域で活動をしている方々へのインタビュー活動

言語活動充実のための工夫

- 調べてきた内容について発表、交流し、その共通点や関連について話し合う。
- 課題に対する自分の考えをまとめ、報告する文章にして伝え合う。

(1) 教材化にあたって

子どもたちの生活は、学校、家庭、そして地域の人々によって支えられ、豊かで潤いのあるものになる。しかし、今現在、地域の人々との結び付きは、少子高齢化、近所付き合いの希薄化などに伴い、弱くなってきたと言える。地域の活性化には、そこに住む人と人とのつながりが不可欠である。

本校児童も、地域で活動したり、行事に参加したりする経験はあるものの、地域の人々と関わる機会は少なくなってきた。そのため、児童の地域の人に対する関心は低いと言える。

しかし、東五条の町には同窓生の方が多く住んでおり、学校行事にも進んで参加して下さっている。また、市民委員会や町内会が中心となって、地域のパトロールやお祭りの開催など、子どもたちに直接関係する取組もボランティアで続けてくださっている。

自分たちの地域を支える人々の存在に目を向けさせ、その思いに気付かせることで、児童に地域に対する関心や愛着をもたせたいと考え、本単元を教材化した。

(2) 児童の実態

自分たちが暮らす地域について児童は、2年生時に生活科「まちたんけん」の学習で、校区内の商店で働く人について調べたり、交流したりした経験をもっている。また、3年生の社会科の学習では、実際に校区内を歩き、町の様子や特徴についても調査してきた。

事前アンケートからは、児童が校区内にある公園や商店などをよく利用しているということが分かった。しかし、「地域にある自慢したい場所」の項目について、地域内にある具体的な場所を挙げる事ができた児童は半数に満たなかった。また、「地域の中で頑張ってくれている人」や「地域の中でよく話す人」「地域の中でありがとうを伝えたい人」の項目では、家族や親類の名前が挙がり、半数以上の児童は「分からない」「いない」と回答していた。

これらの結果から、児童は地域に対する意識が低く、特に地域を支えている人々の存在やその思いには十分に気付くことができていないということが分かった。

(3) 指導について

前単元「カレー大作戦」では、野菜の栽培活動を中心に学習を進めた。お世話をしていく中で自分たちにとって必要な情報やその収集の仕方を考えたり、課題解決のために身近な人物に協力を依頼したりするなど、課題について自分ごととして追究することができた。また、集めた情報や自分の考えを文章や図でまとめ、交流することもできた。

本単元では、これらの経験を生かすとともに、児童による積極的な調査活動を展開させたい。特に、地域の人へインタビューしたり、友達と話し合ったりするなど、他者と関わりながら協力して課題を解決していく醍醐味を味わわせたい。

第1次の学習では、本校の学校図書館にある「山田文庫」に着目させる。山田文庫について調べの中で、「山田さんはどうして山田文庫を始めたのか」という課題へと更新させ、「自分たちを支えてくれている地域の方がいる」ということに気付かせたい。そこから「地域には、自分たちを支えてくれている人がもっといるのではないか」という視点をもたせていく。

第2次の学習では、地域の中で自分たちを支える人々へのインタビュー活動を中心に展開させていく。自分が調べた地域の人々の活動やその願いをより伝えられるように、方法や内容を選択しながら発表の準備をしていく。調査したことを交流することで、「地域を大切にしたい、盛り上げていきたい」という人々の願いを感じさせ、地域に対する関心や愛着を一層深めていきたい。

第3次の学習では、地域の人々の願いを受け、地域のために自分たちができることを考えていく。「地域のためにやってみよう」という児童の思いを大切にしながら、地域の人と一緒に活動したり、地域の人々の活動を紹介したりしていく。児童の取組を回覧版で紹介するなど、地域全体への発信も可能であると考えている。児童が地域の人々と繰り返しかわることを大切に、人々とのつながりを深めさせていきたい。

3 単元の目標

- 身近な地域の人々の活動や願いについて調べ、交流することを通して、地域の人々が自分たちや地域を支えていることに気付き、地域への関心や愛着を深めることができる。
- 地域の一員としての自分に気付き、地域のためにできることを考え、実践することができる。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

よりよく探究する 学び方	他とかかわりながら 学ぶ力	自己と学びを かかわらせる力
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味・関心や経験を生かしながら、解決の見通しの立つ課題や追究方法を設定している。 ・提示された方法を基にして課題解決のための情報を集めている。 ・地域の人々の活動や願いを伝えるために情報を吟味したり、分類したりして、必要な情報を整理している。 ・地域の魅力や地域に対する自分の思いについて、工夫しながらまとめている。 ・課題解決したことを発表したり、話し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力したり、地域の方に進んで質問したりするなど、他者と協同的に追究活動を進めている。 ・地域の人々の願いや地域に対する自分の思いについて、目的や相手意識をもって情報発信しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に課題追究したり、自らの学習の経過を振り返ったりし、地域の人々の地域を支える思いについて考えている。 ・課題追究したことを手掛かりに、自分の地域に対する思いや見方を深めている。

(2) 学習活動における具体的評価規準

次	よりよく探究する 学び方	他とかかわりながら 学ぶ力	自己と学びを かかわらせる力
第一次 ⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・山田文庫について関心をもち、疑問に思ったことや確かめてみたいことについて積極的に調べている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・山田さんの活動に対する思いに気付き、それに対する自分の考えをもっている。
第二次 ⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法に見通しをもち、地域の人々の活動や願いについて情報を収集している。 ・地域の人々の活動や願いを伝えるための情報を整理・分析し、必要なものを選択している。 ・地域の人々について調べたことを発表したり、話し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力したり、地域の人々と交流したりしながら課題を解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査活動や発表交流を通して、地域の人々に対する自分の考えや思いを深めている。
第三次 ⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のためにできることを、相手や場に応じて実践したり、分かりやすくまとめて表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力したり、地域の人々と交流したりしながら、地域のためにできることを実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のためにできることについて、自分なりにできることを考えている。

5 単元の展開 (全38時間 本時4/38)

次	過程	○主な学習活動	教師の働きかけ～◇ 評価～☆
一 次	課題の設定	<p>○山田文庫にある本や本棚の写真を提示し、知っていることについて話し合う。 ①</p> <p>「いつも読んでいるよ。」 「好きな本がいっぱいあるよ。」 「山田文庫ってどうしてあるのかな。」 「山田文庫って何冊ぐらいあるんだろう。」 「山田さんて、だれなんだろう。」</p>	<p>◇学級や図書館にある山田文庫の本を活用する。</p> <p>☆山田文庫について関心をもち、課題を考えようとしている。(発言・記述)</p>
	情報の収集整理・分析	<p>共通課題①</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">『山田文庫のひみつ』を見つけてよう！</div> <p>○共通体験1【山田文庫についての調査活動】 ②</p> <p>「山田文庫の本が何冊あるのか数えに行こう！」 「お姉ちゃんが学校にいた時も山田文庫があったのか聞いてみよう。」 「校長先生ならひみつを知っているかもしれない。」 「図書館の坂田先生に、話を聞いてみようよ。」</p> <p>○「山田文庫のひみつ」発表交流を行う。 ① 本時</p> <p>「山田文庫の本は、500冊を超えていたよ！」 「坂田先生に聞いたところ、山田文庫は20年以上前から始まったそうです。」 「山田豊司さんという人が本を届けてくれているだって。」</p> <p>「どうして山田さんは山田文庫を始めたのかなあ。」 「毎年本を贈るのって大変じゃないのかな。」 「山田さんってどんな人なんだろう。会ってみたいな。」</p> <p>○山田さんに調査をお願いする手紙を書く。 ①</p> <p>○共通体験2【山田豊司さんのお話】 ②</p> <p>「山田さんが山田文庫を始めた理由が分かったよ。」 「こんなことをしてくれる人が自分の町にいるなんて知らなかったな。」</p> <p>○山田さんのお話から考えたことを交流し、山田さんの山田文庫を続ける思いについて話し合う。 ①</p> <p>「ぼくたちがいつまでも本を好きでいられるように続けてくれていると思うよ。」 「私たちに、新しい本でたくさんのお話を学んでほしいからじゃないかな。」</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">山田文庫は、山田さんが東五条の子どもたちの成長のために続けてくれているものなんだ。東五条の町に、こんな人がいてくれるなんてうれしいな。</div>	<p>☆山田文庫について疑問をもち、自分なりの方法で解決しようとしている。(発言・記述)</p> <p>◇調査活動の中で、図書館支援員さんと連携をとる。</p> <p>☆山田文庫について調べたことを交流し、取組を始めた山田さんへの関心を高めている。(発言・記述)</p> <p>◇児童が調べてきたことを整理したり、関連付けたりしながら、新たな疑問をもたせていく。</p> <p>◇山田さんをゲストティーチャーとしてお招きし、山田文庫を始めた時の思いについてお話いただく。</p> <p>☆山田さんの山田文庫に対する願いに気付き、自分なりの考えをもって、意見を述べている (発言・記述)</p>

	<p>○山田さんへの感謝状を作り，贈りに行く。 ② 「山田さんが喜んでくれてうれしいな。」 「他の人にも感謝状を贈りたいな。」</p>	<p>◇山田さんから，地域の中で取組を続けている人が他にもいることを話していただく。</p>
<p>二次</p>	<p>○地域の感謝状を贈りたい人について考える。 ① 「山田さんみたいにぼくたちのために頑張ってくれている人って他にもいるんじゃないかな。」 「山田さんも言っていたね。」 「そう言えば，公園をパトロールしてくれている人を見たことがあるよ。」 「町で頑張ってくれている人にもっと感謝状を贈ろうよ！」</p> <p>共通課題②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 東五条の「町のありがとうさん」に，感謝状を贈ろう！ </div> <p>○地域の中にどんな取組をしている人がいるのかを調べ，交流する。 ① 「ぼくは青パトの〇〇さんについて調べたい。」 「まずはどんな人がいるのか調べてみたいな。」 「家族の人にも聞いてみたいな。」 「山田さんに教えてもらおう。」</p> <p>○個の課題を設定し，調査計画を立てる。 ① 「いつから続けているのかな。」 「どうして続けているのかな。」 「どんなことがうれしいのかな。」 「大変なことはないのかな。」</p> <p>○グループごとに町の人々にインタビューする。 ② 「〇〇さんは，お祭りを続けてくれているよ。」 「□□さんは仕事が休みの時にパトロールしてくれているんだ！」 「△△さんは，もっとたくさん子どもたちにラジオ体操に参加してほしいんだ。」</p> <p>○「町のありがとうさん」について，伝える内容を整理し，発表方法を考え，準備をする。 ③ 「〇〇さんがもう何十年もお祭りを続けていることは大きく伝えたいな。」 「△△さんが困っていることをみんなに知らせたいよ。」</p>	<p>◇新しい共通課題を設定するために，気付いたことや新たな疑問を交流させる ◇地域の方が行っている活動写真を提示したり，地域の行事に児童が参加している写真を提示したりする。 ☆話し合いをもとに，共通課題について考えている。 (発言，記述)</p> <p>◇保護者や学校職員への聞き取りや紹介をもとに，地域に住む人の情報を集めさせる。 ☆調査方法の見通しをもち，情報を収集している。 (発言，記述，活動の様子)</p> <p>◇地域の人に何を聞いてくるのか，視点をもたせる。</p> <p>☆友達と協力したり，地域の人と積極的に交流したりし，課題について調べている。 (活動の様子，記述)</p> <p>☆目的に応じて収集した内容を選択したり，発表方法を考えたりしている。 (活動の様子，記述)</p>
<p>課題の設定</p>		
<p>情報の収集</p>		
<p>整理・分析</p>		

二次	まとめ・表現	<p>○調査した「町のありがとさん」について発表する。②</p> <p>「青パトのみなさんは、実は夜もパトロールをしてくれているんだよ。」</p> <p>「金星公園のお祭りをしている〇〇さんは、地域の人みんなにとっての思い出になるように、ずっと続けているんだよ。」</p>	<p>☆学級の仲間と交流しながら、それぞれの報告を聞き、感想をもっている。 (活動の様子, 記述)</p>
	整理・分析	<p>○「町のありがとさん」に贈る賞について考える。①</p> <p>「〇〇さんは、『安全をありがとう賞』がいいよ。だって——。」</p> <p>「ぼくは、『長い間ありがとう賞』だな。だって——。」</p> <p>「ぼくは、『地域みんなのためにありがとう賞』だな。」</p>	<p>☆自分の根拠をもとに、課題について考えている。 (発言, 記述)</p> <p>◇地域の人々へ贈る賞を関連付けながら、地域の人々の共通した願いに気付かせていく。</p>
		<p>「町のありがとさん」たちは、ぼくたちのことだけじゃなくて、東五条の町の人みんなのことを思ってくれているんだ！東五条の町ってすてきだな。</p>	
		<p>○「町のありがとさん」に、それぞれが考えた賞を贈りにいく。②</p>	
三次	課題の設定	<p>○これまでの学習の感想を交流し、発展した共通課題を設定する。①</p> <p>「こんなにすごい人がいるなんて知らなかったな。」</p> <p>「もっとたくさんの人に知ってほしいな。」</p> <p>「ぼくは町の人のお手伝いをしてみたいな。」</p> <p>「東五条の町のために、何かできないな。」</p>	<p>☆町の人々の取組や願いについて分かったことから、自分の思いを関連させて、新たな課題を見出している。 (発言, 記述)</p>
	<p>共通課題③</p> <p>自分たちも東五条の町の力になろう！</p>		
	情報の収集	<p>○個の課題を設定する。①</p> <p>「活動のことをポスターにして知らせたい。」</p> <p>「一緒に活動してみたい。」</p>	<p>☆地域の力になれる自分なりの方法を考えている。 (活動の様子, 記述)</p>
	まとめ・表現	<p>○グループごとに、活動計画を立て、実践する。③</p> <p>○実践したことについて報告会を行う。①</p> <p>○単元を振り返り自己評価をする。①</p> <p>「東五条の町がもっと好きになったよ。」</p> <p>「今度町の人に会ったらあいさつしたいな。」</p> <p>「次のお祭りには、みんなで行ってみようよ。」</p>	<p>☆課題に見通しをもって計画を立て、相手や目的に応じて実践している。 (活動の様子, 記述)</p> <p>☆学習をふりかえり、地域に対する考えや見方を深めている。(記述, 発言)</p>
		<p>東五条の町の力になれてうれしいな！町の人に会うのが何だか楽しみだな。</p>	

6 研究との関わり

(1) 課題意識を高める導入の工夫・・・・・・・・・・・・・・・・〔研究内容2-1〕

身近にあるけれど、意識していなかったものを通して地域の人々の活動に気付かせる工夫

本単元では、課題意識を高める導入の工夫として、どの学年の教室にも置いてある「山田文庫」に着目させた。入学したときから教室にあり、何気なく目にしていた「山田文庫」だが、その由来について深く考えたことがなく、課題意識を生み出すのに効果的であると考えた。山田さんは、何年も前から毎年東五条小学校に本を寄贈してくださっている地域の方である。地域の子どもたちの成長を願い、自分にできることを行ってくださっている方の思いに触れることで、地域の人々に目を向けさせ、地域への興味・関心を高めることができると考えた。

本単元の導入部分では、「山田文庫のひみつをみつけてこよう」を共通課題①とし、今まで意識していなかった「山田文庫」に着目させ、山田文庫の冊数を数えたり、図書館支援員さんに聞いたりする活動を行い、山田文庫に関する情報を子どもたちなりに収集する。集めてきた情報を整理、分析することで子どもたちは、「山田文庫」が20年以上も前から続けられていることや山田さんという方が関わっていることを知る。しかし、山田さんが「山田文庫」を始めた理由やずっと続けてくださっている理由までは調べることができないことに気付く。自分たちのために、毎年本を寄贈し続けてくださっている思いを確かめるために、実際に山田さんに会ってみたいと思うのではないだろうか。

本時では、子どもたちの課題意識が「山田文庫」という「もの」から「山田さん」という「ひと」に高まっていくことをねらいとしている。

(2) 学びの連続性を意識した活動構成の工夫・・・・・・・・・・・・・・・・〔研究内容2-2〕

個々に調査したことを協同的に学ぶ場の設定

2次では、山田さんとの出会いをきっかけに、子どもたちは、地域に住む自分たちを支える人々がいることを知り、他にも自分たちを支えている人を見つけて調べる活動へと展開していく。

地域で見つけた「ありがとさん」について、3年生の子どもたちなりの価値観で調べ学習を進めることとなる。それぞれで調べてきたことが異なるため、「どんなところに有り難さを感じているのか」について自分なりの理由を発表することで、「ありがとさん」に対する視点が明確になっていくと考える。「どんな賞を贈るのか」を学級全体で意見交流して決める活動を通して、なぜその人にその賞を贈るのか、地域の人がどんな思いで活動に取り組んでいるのか、それに対して自分たちはどう思っているのかなど、見方や考え方がより深まっていくと考えた。

(3) 学びを広げ、深める指導方法の工夫・・・・・・・・・・・・・・・・〔研究内容3-4〕

思考ツール等を活用した整理・分析の工夫

子どもたちが調べて得た情報を全体交流の場で効果的に発表するためには、情報の整理が必要になる。表にまとめたり、図に表したりすることで、その人の有り難さや思いが明確になっていくと考えた。また、全体交流の場ではそれぞれの人に対する自分たちの思いをKJ法でまとめたり、ウェビングで示したりするなど、視覚的に分かりやすくすることで、情報の比較や関連付けができると考えた。

7 本時の授業

(1) 本時の目標

- 「山田文庫」について調べたことを交流することで、取組を始めた山田さんへの関心を高める。
【よりよく探究する学び方】

(2) 本時の展開【35時間扱い 4/35】

主な学習活動	□教師の働きかけ◆評価
<p>○本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>見つけてきた「山田文庫のひみつ」を発表しよう！</p> </div> <p>○「山田文庫」について調べてきたことを発表し、交流する。</p> <p>「山田文庫の本は、全部で500冊を超えるほどありました。」 「坂田先生に聞いたところ、山田文庫は20年以上前から始まって、毎年新しい本が増えているそうです。」 「山田文庫は、山田豊司さんという方が始めて、今も続けてくれているんだって。」</p> <p>○「山田文庫」についてわかったことを整理し、関連付けて考えたことを交流する。 「山田さんは、少しずつ本を増やしてくれているね。」 「これだけあるから、全校の人が本を読むことができるんだ。」 「新しい本が増えるのはうれしいな。」</p> <p>○山田文庫についてわかったことから、感想や疑問を交流し、新たな課題をもつ。 「山田さんが毎年続けてくれているのがすごいと思った。」 「どうして山田さんは山田文庫を始めようと思ったのかな。」 「毎年本をくれて、大変じゃないのかな。」</p>	<p>□「自分たちで見つけてきた『山田文庫のひみつ』を発表しましょう。」 (発問1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田文庫の写真や調べてきたことをまとめた掲示物などを貼る。 ・山田文庫についてわかったことをカードにまとめ、黒板に貼る。 <p>□「『山田文庫のひみつ』がわかってきましたね。わかってきたことを整理してみましよう。」 (発問2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を関連付けながら整理し、新たな疑問に気づかせるなど、まだわかっていないことを焦点化させていく。 <p>□「『山田文庫のひみつ』から、どんなことを考えましたか。」 (発問3)</p> <p>◆話し合ったことを根拠に、山田さんの山田文庫を始めた思いについて、自分の意見をもっている。 (発言、記述)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p style="text-align: center;">「山田文庫のひみつ」がたくさんわかったよ！ でも、山田さんはどうして「山田文庫」を始めたのかな。山田さんに会ってみたいな。</p> </div>	

(3) 本時の評価規準

<p>◇「山田文庫」について調べたことを交流することで、取組を始めた山田さんへの関心を高める。(発言、記述) 十分満足できる</p>	<p>自分の調べてきたことや友達の調べてきたことを関連付けて、取組を始めた理由について考えながら、山田さんへの関心を高めている。</p>
<p>おおむね満足できる</p>	<p>自分の調べてきたことや友達の調べてきたことを関連付けて、取組を始めた山田さんへの関心を高めている。</p>
<p>努力を要する児童への指導</p>	<p>友達の発言についてどのように思ったかを問いかけ、活動を始めた山田さんへ意識を向けさせていく。</p>